

〔 横浜市吉野町市民プラザ 〕
令和 5 年度業務報告
〔 吉野町・岩間アート&メディアパートナーズ 〕

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業 ○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標 ■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市吉野町市民プラザ
所在地	横浜市南区吉野町 5-26
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上5階建
敷地・延床面積	建築面積 2,760.08㎡（市民プラザ部分：地上1階～5階）
開館日	平成元年7月15日

2 指定管理者

団体名	吉野町・岩間アート&メディアパートナーズ
所在地	横浜市西区西平沼町 6-1 tvk ecom park（ヨコハマくらし館内）
代表者	代表取締役社長 熊谷 典和
代表事業者設立年月日	昭和 49 年 9 月 10 日
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	平成 28 年 4 月 1 日

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

指定管理の 2 期目 2 年目に突入した令和 5 年度は、令和 4 年度で展開を試みた自主事業などを継続し、積極的に自主事業に取り組みました。

継続している事業は、より企画内容の充実をはかり、次世代を担う若手ミュージシャンを応援する事業ギターカルテット「LIBERTA (リベルタ)」ウィンターコンサートや、定期利用者による「来て見て！市民団体クラシック・吹奏楽演奏会」、そして 3 館連携プロジェクト企画「スクランブル・ダンスプロジェクトワークショップ」、「スクランブル・ダンスプロジェクト公演『ロックス』プラス」2 事業のインクルーシブダンス企画などの新たな事業に挑戦し実施しました。

施設運営では清掃、点検を日常的に行い、共同企業体の専門性を活かし小規模修繕を行いました。収支面でも節約と利用料金の改善により今期は黒字で収支を終えることができました。

(2) 令和5年度の業務の方針

ア 全体について

令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行を受け、参加者への規制等を撤廃し提案書に揚げた業務に臨みました。

「吉野町音楽空間」「アート&クラフトマーケット」「FUN! FUN! FUN!」「写真講座」「ギター講座」などの継続事業の他、新たに3館連携プロジェクトによるインクルーシブダンス事業や「来て見て! 市民団体クラシック・吹奏楽演奏会」などの事業も実施し、自主事業収入も昨年に比べ増加し黒字収支の要因になりました。

イ 使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

昨年に引き続き利用者の気持ちにそった施設運営を職員一同で心がけ、地域へ向けた事業も実施しました。結果、ホール利用率(日)95%、利用者総数56,089名、令和5年度の目標を達成することが出来ました。

ウ 使命2 文化芸術活動への参加の機会を提供する

芸術・文化活動を応援するための優先予約制度ウエルカムプラザの定期利用団体は8団体で年7,893名の利用がありました。特に横浜交響楽団は年間合計4,432名、南区体育協会健康体操教室は年間合計1,620名の利用がありました。

ウエルカムプラザの優先利用では21団体25件の利用がありました。

また協力事業の劇団ひまわりエクステンション事業では年間38件、合計4,674名の利用があり、多くの利用者へ活動の場を提供しました。

エ 使命3 次世代を担う人材を育む

スマホでカンタン「夏休みおやこ映像講座」、夏休みの自由研究「食品サンプルを作ろう」、夏休み「おやこホール探検ツアー」など、次代を担う子どもたちが自ら創作する喜びや、表現する楽しさを体験するための企画として、親子を対象とした事業を夏休み期間に3件実施しました。

地域交流のためのアウトリーチ事業「睦町公園野外映画上映会」も地域の子どもを応援する継続事業として技術協力を行いました。

また、将来の施設利用者増進の為、若手ギタリスト4名によるコンサート「LIBERTA(リベルタ)」ウィンターコンサートを共催事業として行うなど新たな事業にも取り組みました。

オ 使命4 文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける

文化芸術団体の活動継続支援事業の「来て見て市民プラザ」の取り組みとして実施した「来て見て! 市民団体クラシック・吹奏楽演奏会」では、定期的にホール利用をしているオーケストラ団体や吹奏楽団体を対象として、5団体166名の出演者に協力してもらい開催しました。

演奏会当日は、述べ54名の来場者や参加した出演者166名との間で交流も生まれ、施設の周知促進と利用者層の拡大の実感を得ました。

カ 使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

法令等に則った施設の保守・点検や日常的な予防的修繕などの維持管理を行い、安全で快適な施設を維持するように務めました。

環境創造局吉野ポンプ場に参加してもらい消防訓練を行うなどの連携しながら災害時を想定したリスクマネジメントを行いました。

効率的な経費の執行や収入増の取り組み等により、安定的な施設運営を行いました。

キ 使命6 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し施設運営を継続する

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行後もスタジオなどの消毒等の実施をし、利用者により安心安全な環境を提供しました。

徹底した経費節減を行い、それも今期の黒字を達成する一因になりました。

4 運営組織の構造、人員配置

共同事業体各社から文化施設での実務経験のある職員を配置し、職員全員がお客様対応・受付業務・貸館業務等に習熟し、安定した運営を実現できる体制で施設運営を行いました。舞台技術、設備、清掃各担当には、専門的な知識と経験を有する職員を配置しました。

突発的な施設不具合などの際は、共同事業体各社が速やかな対応を行いました。

5 令和5年度の業務の取組

(1) 文化事業

利用者参加型のイベントとして定着しつつある「吉野町音楽空間 vol.7」を開催し、そのライブを教材に近隣の県立清陵高校写真部員が参加している「写真講座」を合わせて開催しました。その生徒作品は今期から開設した吉野町市民プラザ公式 X (旧 twitter) で紹介し、ライブ映像は当館 HP からリンクを貼った YouTube で紹介する準備を行うなど、継続事業の充実をはかりました。

スマホ1台で撮影から編集、そしてネットにアップするまでをメディアのプロが教える「夏休みおやこ映像講座」の参加者作品も、講座当日に講師の指導のもと当館 HP から発信をするなど、映像に強い事業体の強みも発揮しました。

また、参加者のリピーターが多い手作り市「アート&クラフトマーケット」は初夏と秋の2回実施し、地域との交流や絆を大切にしたい事業を行いました。

(2) 施設運営

利用者が快適に施設を利用できるようにスタジオ備品や楽器などのメンテナンスを日常的に行い、利用率の維持向上をはかりました。

「ウエルカムプラザ」は定期的な利用により安定した実績を残しました。

当館 HP に吉野町駅と南太田駅からのアクセス動画を継続して行い、南太田駅前看板をリニューアルしました。ホール、ギャラリー、スタジオなどの紹介映像も新規撮影を行い動画掲載を継続して利用促進に繋げました。

(3) 施設管理

全職員へ対し機材取り扱い研修や、AED の使用研修なども行い、日常的な業務から非常時における安全行動なども行えるようにしました。

経年劣化による不具合が発生する中で、「安全・安心・快適」に利用してもらうため、日々の点検を強化し不具合の早期発見を行い、共同体の強みを生かし迅速な早期修繕を行い長期的な施設の機能維持をめざしています。

(4) 収支

事業収支の安定化や、管理運営経費の効率化、暖冬ではありましたが水道光熱費をはじめとする管理運営経費の削減の結果、黒字で終わることができました。

来期以降も今期同様の効率化と削減に取り組みます。

(5) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

横浜市市民プラザ指定管理者業務の基準に定めのある計画書・報告書等の各種書類については、横浜市所管課の要請も踏まえつつ適時適切に作成します。業務評価にあたっては、完了確認表や自己評価表を作成するとともに、行政評価ならびに選定評価委員の評価を真摯に受け止め、必要な項目は改善していきます。

(6) その他

令和5年度で大きな成果を得た事業は、令和6年3月3日関内ホール小ホールで開催した3館連携プロジェクト「スクランブル・ダンス公演『ロックス』プラス」です。

このダンスイベントは「障害の有無を超えて共にダンスを創る」をテーマに、関内ホール、岩間市民プラザ、吉野町市民プラザの実務担当者で組織した3館連携プロジェクトとNPO法人LANDFESで企画し約10ヶ月の準備期間をかけて実施しました。

ダンスを楽しみたいという障害の有る人、無い人が岩間市民プラザ、吉野町市民プラザで開催したワークショップに参加し、その発表を有料公演として行い、ワークショップ参加者延18名、公演来場は150名を超える事業になりました。

今後も3館連携プロジェクトはより連携を深め、新たな取り組みを検討していきます。

※ 5 (1) ~ (6) の具体的な取組内容や指標は、指定管理業務計画表兼評価表に記載します。

6 使命の指標の達成状況と重点的取組事項

(1) 使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目		R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	貸館利用率	ホール	95%	94%	95%			97%	
		ギャラリー	45%	56%	48%			58%	
		会議室	49%	50%	51%			53%	
		スタジオA	64%	65%	62%			70%	
		スタジオB、C	74%	75%	79%			88%	
2	総来場者数		54,926 人	20,000 人	56,089 人			35,000 人	
3 ★	利用者アンケート回収率		46.8%	60%	80.5%			60%	
4 ★	利用者インタビュー		3件	20件	14件			20件	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者の状況についての現状把握	R 4 実績	事業の出演者からアンケート実施して状況把握
		R 5 達成指標	利用者アンケートによる現状把握。
		R 5 実績	利用者アンケートを実施し、アンケート結果を分析
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	利用者インタビューによる改善効果の検証。
		R 8 実績	
2 ★	利用者と施設をつなぐ「ピアノプラン」、利用者同士をつなぐ「来て見て市民プラザ（仮称・新規）」	R 4 実績	「朝からグランドピアノ」（「ピアノプラン」）を実施し、新規来場者を増やす取り組みを行った。
		R 5 達成指標	普段施設を利用されていない方が、来館され施設を利用するきっかけとなる。
		R 5 実績	「ピアノプラン」は、「朝からグランドピアノ」の開催及び「ホールでグランドピアノ」を再開し、新規来場者を増やす取り組みを行った。また「来て見て市民プラザ」の新規事業として「来て見て市民団体クラシック・吹奏楽演奏会」を開催し5団体の出演と一般来場者を募集して実施した。
		R 6 実績	
		R 7 実績	

	を実施する	R 8 達成指標	文化芸術活動に参加されたい方々を、募集している団体につないでいく。
		R 8 実績	
3 ★	利用者の年代や居住エリアを分析し、ターゲットに合わせた広報手段で発信する	R 4 実績	事業アンケートを分析し、コンテンツによりターゲットを分析した。
		R 5 達成指標	来館者アンケートを実施し、分析・確認をして広報手段などについて検討し、再確認・見直しを行う。
		R 5 実績	利用者アンケートを実施し、アンケート結果を分析
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	これまでの来館者の年代・エリア推移を精査し、結果を検証する。
		R 8 実績	

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

・「ピアノプラン」「来て見て市民プラザ」「ウェルカムプラザ」「U25プラン」などについて、利用者のニーズ調査や具体的な実施方法の検討を行い、可能なものから着手します。

(2) 使命2 文化芸術活動への参加の機会を提供する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	体験型事業の事業数および実施回数	8事業 17回	9事業 26回	9事業 24回			10事業 28回	
2	アウトリーチ事業の実施回数	8回	7回	7回			9回	
3	来場者(参加者)満足度	4.53	4.5 (5段階)	4.51			4.5 (5段階)	
4 ★	講座・体験・参加を取り入れた鑑賞型事業	5事業 15回	5事業 15回	5事業 18回			5事業 15回	
5 ★	横浜トリエンナーレ、横浜音祭り、Dance Dance Dance @YOKOHAMA 参加事業の開催	1回	1回	1回			1回	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	参加者の定性分析	R 4 実績	事業の参加者アンケートを分析、次の企画に生かす
		R 5 達成指標	事業の参加者アンケートを分析し、次の企画に分析結果を生かす
		R 5 実績	自主事業の参加アンケートを分析、次の企画に生かす
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	事業の参加者アンケートをこれまでと比較し、達成度の推移を見る
		R 8 実績	
2 ★	文化芸術活動に役立つ講座の開催	R 4 実績	写真講座やアート&クラフトマーケットを開催
		R 5 達成指標	来館者のニーズを把握し、今後の企画に生かす。
		R 5 実績	チャレンジ・ザ・ギターワークショップ 2023 や夏休みおやこ映像講座を開催しアンケートをとり、ニーズ把握を行った。
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	過去の参加者のデータをもとに、講座開催の成果の検証を行う。
		R 8 実績	
3 ★	アウトリーチ事業を地域のアーティスト	R 4 実績	学校教育プログラムやアウトリーチ事業で地域協力を実施
		R 5 達成指標	地域のアーティストや団体と協働し、普段施設に来館されない方々に、芸術文化に触れていただく機会を提供する。
		R 5 実績	来て見て市民団体「クラシック・吹奏楽演奏会」では当館利用団体

	ストや利用団体と協働で開催		と協働で開催。一般来場を募集し、芸術文化に触れていただく機会を提供した。
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	あらたに施設を利用し始めたアーティストや団体と、新しいイベントを開催する。
		R 8 実績	
4 ★	オンラインイベントの開催	R 4 実績	ギターワークショップの受講生に向けて収録映像を公開
		R 5 達成指標	施設主催の講座に参加する受講者が、オンラインで成果を発表できる機会を作る。
		R 5 実績	おやこ映像講座参加者の映像作品をWEB（HP）で公開。吉野町音楽空間のステージを収録し、HPで公開する準備を行った。
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	5年間の成果の精査を行う。
		R 8 実績	

ウ 使命2を達成するために重点的に取り組む事項

様々な芸術に関する講座、年齢・人数に関わらず楽しめる体験講座を行い、利用者の文化芸術活動をはじめるきっかけづくりに努めます。また地域のアーティストや団体とより関係を深めていきます。

(3) 使命3 次世代を担う人材を育む

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	子どもや親子連れをターゲットとした事業数	5 事業	5 事業	5 事業			8 事業	
2 ★	学校や保育園と連携した事業	1 事業	3 事業	1 事業			3 事業	
3 ★	市民とともに企画・実施する事業	3 事業	3 事業	5 事業			3 事業	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	近隣の文化団体の状況把握	R 4 実績	事業出演 6 団体の 4 団体からアンケートを回収した
		R 5 達成指標	アートネットワーク会議を開催し、状況を把握する。
		R 5 実績	市民団体代表とアーティスト 1 名と 3 者で市民プラザの役割や地域貢献について打合せした。
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	アートネットワーク会議から生まれた活動を支援する。
		R 8 実績	
2	子どもたちや学校の定性分析 (インタビュー調査)	R 4 実績	インタビュー調査未実施
		R 5 達成指標	インタビュー調査の結果を、事業や運営に 3 件反映する。
		R 5 実績	近隣小学校をインタビューし、ニーズがあったウォールアートを展示する事業をギャラリー (ギャラリーホワイエ) で企画したが発表の形式について、小学校の方で活動発表会形式を選ぶ形となり展示企画については中止となり、未実施となった。
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	インタビュー調査の結果を、事業や運営に 5 件反映する。
		R 8 実績	
3 ★	若い世代の文化芸術活動を応援する事業の実施	R 4 実績	U25 プランを 1 団体に適用
		R 5 達成指標	「U25 プラン」「ジュニア割引」「ウェルカムジュニア」等を実施し、若い世代の利用を応援する。
		R 5 実績	U25 プランを 1 団体に適用。ジュニア割引については、若手落語会、ギターカルテット「LIBERTA (リベルタ)」公演で実施した。LIBERTA (リベルタ) 公演は若手ギタリストを応援する事業として公演を

			開催した。
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	近隣・地元の保育園・幼稚園・小中大学校と連携し、より積極的に活動を応援する。
		R 8 実績	
4 ★	文化団体 や文化活 動をする 人の活動 に協力	R 4 実績	地域のギター団体についてアンサンブルギターコンサートを開催し出演機会を提供した。
		R 5 達成指標	地域の文化活動団体が活動する際、広報などの協力をする。
		R 5 実績	「光のぷろむなあど」地域で活動している人や団体の出演を募集し、コンサートでサポート、広報協力も行った。来て見て市民団体「クラシック・吹奏楽演奏会」では文化団体5団体を出演者として調整した。
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	地域の文化活動団体と協働し、事業を開催する。
		R 8 実績	

ウ 使命3を達成するために重点的に取り組む事項

・近隣・地元の学校や保育園の協力を得て、作品の展示会、音楽などの鑑賞会、ワークショップなどを開催し、文化芸術体験を通して地域の皆さんと交流する機会を作ります。

(4) 使命4 文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	地域の施設・団体と連携して実施した事業数	5 事業	6 事業	8 事業			6 事業	
2	社会的包摂の実現を目指す事業数	1 事業	3 事業	4 事業			4 事業	
3 ★	連携する団体数	3 団体	6 団体	5 団体			8 団体	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	連携した ことによ る地域の 定性分析	R 4 実績	連携する地域行事に協力
		R 5 達成指標	連携する地域行事の参加者を把握する。
		R 5 実績	連携する地域行事で、参加団体（出演者）のコンサート担当窓口としてイベント運営に協力した。（光のふるむなあと）
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	連携する地域行事の発展・拡大を目指す。
		R 8 実績	
2	社会的包 摂の実現 を目指す 事業への 参加者へ のヒアリ ング・分 析	R 4 実績	事業参加者へアンケート調査を実施
		R 5 達成指標	ヒアリングにより参加者の意識を調査・分析し、次の事業へ反映させる。
		R 5 実績	自主事業、3館連携事業で事業を開催した。事業企画の段階で参加者と企画内容についてヒアリングし事業内容に反映した。
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	ヒアリング結果を反映した事業の参加者に、変化を問うヒアリングを実施する。
		R 8 実績	
3 ★	施設内外 で地域情 報の収集 と提供、 WEB に動 画掲載	R 4 実績	館長日誌（SNS 発信）による施設内情報提供を実施
		R 5 達成指標	地域で活動する団体とのつながりを通じて情報を収集し、HP 等で紹介をする。
		R 5 実績	市民団体との協働する事業を開催し（吉野町音楽空間、来て見て団体クラシック・吹奏楽演奏会他）地域情報を収集。吉野町音楽空間の動画掲載について準備した。施設内情報提供については SNS 発

			信 (X : 旧 twitter) で定期的に発信した。
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	地域で活動する団体とのつながりを通じて情報を収集し、HP 等で紹介をする。
		R 8 実績	
4 ★	未来開発プロジェクトの実施	R 4 実績	プロジェクト構成人材を想定した人と打合せ実施
		R 5 達成指標	地域の人材との連携を深める。
		R 5 実績	地域の若手ギタリストと公演を企画し開催する等連携を深めた。
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	施設と地域の人材によるあらたなプロジェクト・チームを立ち上げる。
		R 8 実績	
5 ★	こどもと一緒に参加しやすい工夫 (おむつ替え、授乳の場所を提供)	R 4 実績	ゼロ歳から参加できるゴスペルコンサートを実施
		R 5 達成指標	安心して授乳などができるスペースを工夫する。
		R 5 実績	FUN ! FUN ! FUN ! Vo13.5 ではイベント当日、ホワイエ控室を障害者の休憩スペースとして活用し、地域のこども達のイベント参加しやすいよう配慮した。
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	来館者に聞き取りを行い、ご意見・要望などを収集する。物理的にも実行できる点は、反映し改善する。
		R 8 実績	

ウ 使命4を達成するために重点的に取り組む事項

・地域の魅力の発掘、人材との出会い、および地域の団体との協働に取り組むべく「市民プラザ未来開発プロジェクト」の準備・実施、3館連携での「街ナカアート」の準備・実施、「ローカルコミュニティプラン」等を展開していきます

(5) 使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	0件	0件	0件			0件	
2	法定点検等の実施	100%	100%	100%			100%	
3	修繕予算の執行率	117%	90%	94%			90%	
4 ★	職員及び共同事業体構成員自らが実施する小破修繕	5件	5件	5件			5件	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング	R 4 実績	事業参加者アンケートに施設の使いやすさや快適さの設問を設けてアンケートを回収した
		R 5 達成指標	利用者アンケートや事業参加者アンケートに、施設の使いやすさや快適さの設問を設け、意見を収集する。
		R 5 実績	施設の使いやすさや快適さの設問を設けて、利用者アンケートと事業参加者アンケートをとり意見収集した。
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	利用者アンケートや事業参加者アンケートに、施設の使いやすさや快適さの設問を設け、意見を収集する。
		R 8 実績	
2	管理運営費推移の要因分析	R 4 実績	省エネカルテを作成し、光熱水費節減に取り組んだ。
		R 5 達成指標	省エネカルテを作成、分析し、光熱水費節減に役立てる。
		R 5 実績	省エネカルテを作成し、光熱水費節減に取り組んだ。
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	省エネカルテを作成、分析し、光熱水費節減に役立てる。
		R 8 実績	
3 ★	施設設備は長く使うことを前提に負荷の少ない運用	R 4 実績	施設点検、利用者への正しい施設の使い方のご案内、備品等の小破修繕に取り組んだ
		R 5 達成指標	職員による日常的な機材などの状況確認をし、小さい不具合等の早期発見に心がける。
		R 5 実績	日常的な機材点検、施設建具・設備、備品等の小破修繕を行い負荷の少ない運用を心掛けた。
		R 6 実績	

		R 7 実績	
		R 8 達成指標	職員による日常的な機材などの状況確認をし、小さい不具合等の早期発見に心がける。
		R 8 実績	
4 ★	事業別収支計画の立案、結果の分析を次回に活用	R 4 実績	事業別に収支計画を立て、次回の分析に活用した
		R 5 達成指標	月次収支の精査、事業単位での収支精査。分析の結果は次回に活用する。
		R 5 実績	月次、事業単位で収支を精査した。次回の事業企画に活用するよう分析した。
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	5年間の成果の精査。
		R 8 実績	

ウ 使命5を達成するために重点的に取り組む事項

・機材の取扱い研修を実施し、職員が利用者に使い方等を案内するとともに、日頃から備品の状態を確認し、異常を速やかに認識し対応できる体制づくりに努めます。

また、ギャラリー・ホールについて、予約システムの予約期間を過ぎた空き枠を活用しての利用料収入の増加、他の室場に関しても空き状況を分析し、利用率増加のために役立てます。

令和5年度 「吉野町市民プラザ」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	62,465,000		62,465,000	65,114,004	△ 2,649,004	横浜市より
利用料金収入	16,600,000		16,600,000	18,444,850	△ 1,844,850	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0		0		0	
自主事業収入	3,200,000		3,200,000	2,524,316	675,684	
雑入	1,142,000		1,142,000	1,053,546	88,454	
印刷代	42,000		42,000	112,772	△ 70,772	受益者負担のコピー代
自動販売機手数料	900,000		900,000	828,674	71,326	自動販売機5台分
駐車場利用料金収入			0		0	
その他（協賛金、助成金等）	200,000		200,000	112,100	87,900	
収入合計	83,407,000	0	83,407,000	87,136,716	△ 3,729,716	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	51,751,328	0	51,751,328	52,531,477	△ 780,149	
給与・賃金	49,523,228		49,523,228	50,437,915	△ 914,687	舞台技術員人件費を含む 最低賃金改定等により増額
社会保険料	500,000		500,000	363,120	136,880	共同事業体各社で出向者分を負担、臨時雇用職員分を計上
通勤手当	1,728,100		1,728,100	1,730,442	△ 2,342	
健康診断費			0		0	共同事業体各社で出向者分を負担
勤労者福祉共済掛金			0		0	共同事業体各社で出向者分を負担
退職給付引当金繰入額			0		0	共同事業体各社で出向者分を負担
事務費	2,407,575	0	2,407,575	2,428,253	△ 20,678	
旅費	50,000		50,000	22,356	27,644	
消耗品費	400,000		400,000	0	400,000	
会議滞在費	0		0		0	
印刷製本費	70,575		70,575	124,241	△ 53,666	
通信費	1,200,000		1,200,000	1,041,441	158,559	
使用料及び賃借料	125,000	0	125,000	103,855	21,145	
横浜市への支払分	125,000		125,000	103,855	21,145	目的外使用料
その他			0		0	
備品購入費	62,000		62,000	816,412	△ 754,412	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	60,000		60,000	55,080	4,920	
職員等研修費			0		0	
振込手数料	100,000		100,000	198,880	△ 98,880	
リース料	200,000		200,000	53,988	146,012	
手数料	90,000		90,000		90,000	
地域協力費	50,000		50,000	12,000	38,000	
事業費	2,880,000	0	2,880,000	1,680,468	1,199,532	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費			0		0	
自主事業費	2,880,000		2,880,000	1,680,468	1,199,532	教育プラットフォーム、広報費を含む
管理費	19,980,000	0	19,980,000	22,993,017	△ 3,013,017	
光熱水費	4,300,000	0	4,300,000	6,829,251	△ 2,529,251	
電気料金	4,000,000		4,000,000	6,393,612	△ 2,393,612	電力契約見直し、節減により提案書より減
ガス料金	0		0	0	0	
水道料金	300,000		300,000	435,639	△ 135,639	
清掃費	4,650,000		4,650,000	4,543,000	107,000	
修繕費	800,000		800,000	751,556	48,444	
機械警備費	410,000		410,000	394,236	15,764	
舞台技術員	0		0		0	
設備保全費	9,820,000	0	9,820,000	10,474,974	△ 654,974	
空調衛生設備保守	3,500,000		3,500,000	3,369,600	130,400	
消防設備保守	420,000		420,000	372,600	47,400	
電気設備保守	290,000		290,000	259,200	30,800	
害虫駆除清掃保守	190,000		190,000	172,800	17,200	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	5,420,000		5,420,000	6,300,774	△ 880,774	舞台音響照明機構保守費、ロールバックチェア、EV保守費等 ホール椅子(80脚)購入
共益費	0		0		0	
公租公課	5,196,423	0	5,196,423	5,346,532	△ 150,109	
事業所税			0		0	
消費税	5,025,423		5,025,423	5,200,912	△ 175,489	
印紙税	21,000		21,000	2,908	18,092	
その他（ ）	150,000		150,000	142,712	7,288	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	1,191,674	0	1,191,674	1,352,558	△ 160,884	
本部分	916,674		916,674	965,039	△ 48,365	経理事務負担分、税理士報酬負担分、HP制作保守費
当該施設分	275,000		275,000	387,519	△ 112,519	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	83,407,000	0	83,407,000	86,332,305	△ 2,925,305	
差引	0	0	0	804,411	△ 804,411	